



ひょうひ ひすま 屏風や襖の中に眠る古文書

「下張り文書」という言葉を聞いたことはありますか。

屏風や襖は、骨格となる下地骨と書画等がかかっている表張りとの間に何層もの紙が貼り重ねられています。これは屏風や襖を補強するためのものです。そこには大量の紙を必要とします。そのため、屏風や襖を作成した当時の反故紙(現在の視点から見れば古文書)が使われていました。それらを下張り文書と呼んでいます。このように、普段見えないうところにも、古文書が眠っています。

下張り文書は意図的に残された古文書ではなく、たまたま下張りとして使われたことにより残ったものです。つまり、当時の人々が保存する価値を認めず、処分されて、現在に伝わっていないなかった可能性のあるものです。しかし、現在からみると、当時の人々の生活を知ることができる資料にもなり得ます。

下張り文書を詳細に検討するためには、下張りとして貼り継がれた状態から、一枚ずつ

剥がす必要があります。このとき、それぞれに整理番号を付すことも、それらがどの層にどのようにつけられていたかを写真を撮影したり、スケッチして記録したりする必要があります。

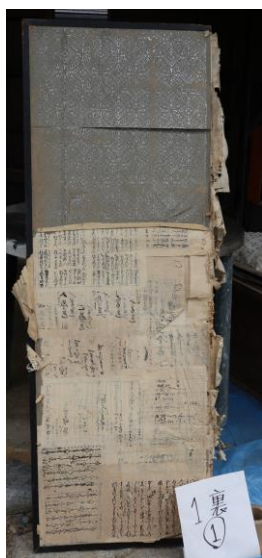
下張り文書の多くは、帳簿を一ページずつ解体したものや、一枚の紙を必要ない大きさに切ったものです。それらの断片的なもの元の状況を推測するには、その下張り文書が貼られていた場所の近くに他にどんな文書があったかを知る必要があります。つまり、屏風や襖を作った表具師が、手元にどんな古文書のまとまりを用意して、貼っていたのかという作業を考えることにもなります。

下張り文書の現状を記録した後、竹べら等を使って、一枚ずつ文書をはがしていきまします。このとき、記録した番号と下張り文書とを一致させるために、仮ラベルを貼ります。その後、一枚ずつ下張り文書がもつ情報を整理し、活用していくこととなります。

下張り文書を剥がして、整理・活用するた

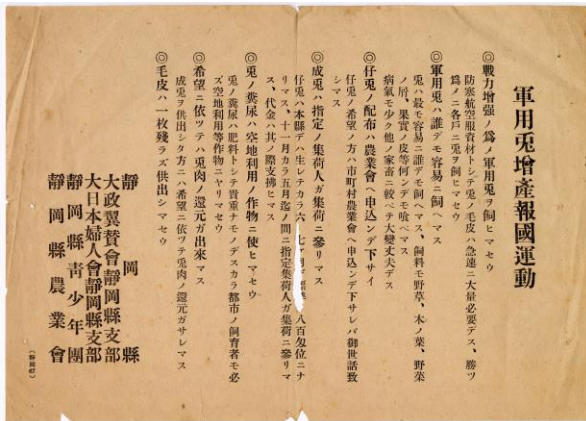
めには、多くの人の手が必要でです。作業には古文書についての知識が必要な部分も大きい一方、剥離作業は、(一定の知識習得は必要ですが)古文書が読めなくても行うことができます。そのため、博物館では市民協働で剥離作業を行うこともあります。

地域の歴史を知る手がかりとなる古文書は人知れず残っていることがあります。この下張り文書もその一つです。しかし、それは社会・家庭環境の変化による家の整理や、災害による被害のため、廃棄されることが多くあります。その存在を知って、地域で守っていくことも大切ではないでしょうか。



屏風の下張り文書調査の記録写真
屏風の表張りが破れて下張り文書が見えています。

軍用兎増産報国運動



第二次世界大戦中に、静岡県や大政翼賛会静岡県支部等の団体により作られた「軍用兎増産報国運動」のチラシです。

このチラシからは、戦時下、兎の毛皮は「防寒航空服」の材料として必要とされ、戦争に「勝ツ為メニ各戸ニ兎ヲ飼ヒマセウ」と呼び掛けられていることがわかります。また、毛皮以外にも、糞尿は肥料として使うことが奨励されていたようです。そして、兎を供出した人には、兎の肉が還元されるということも謳われています。

戦時下では、現在の私たちの、兎に対する見方とは異なった見方をしていたことがうかがえます。

軍用兎については、内閣情報部が発行した『写真週報』（第133号、昭和15年）等にも、長野県での飼育の様子が紹介されています。

このチラシにある「静岡」という名前を見ると、私たちの地域でも、戦争が生活の中に入り込んでいたことがわかります。日本が第二次世界大戦に敗戦してから、77年が経とうとしており、記憶の継承が難しくなっていますが、このチラシは、日常生活に入り込む戦争というものを伝えていきます。

新型コロナウイルス感染予防対策として、ご来館の皆様は以下のことをお願いしています。

- ・マスクの着用
- ・館内での会話は控えめに
- ・同行者以外との距離をあける

※体調がすぐれない場合は来館をご遠慮ください。

催し物のご案内

★テーマ展「新指定文化財展」

6月4日(土)～7月18日(月祝)

近年指定された市内の文化財を公開し、併せて当館所蔵の指定文化財も展示します。

*ギャラリートーク

6月18日(土)、7月6日(水)

14:00から30分程度

*報告会 新たに認定された「浜松地域遺産」

日時: 7月9日(土) 10:00～11:00

講師: 文化財課職員

申込: 当館HP申込フォームまたは往復はがき

6月20日必着

★テーマ展

「史跡蛭塚遺跡の過去・現在・未来」

7月30日(土)～9月25日(日)

過去の調査・整備時の状況や、現段階で分かっている遺跡の特徴、将来的な保存活用の計画などを紹介します。

*ギャラリートーク

7月30日(土)、8月21日(日)

10:30から30分程度

★火起しマスターへの挑戦

6月26日(日) 9:30～11:30、13:00～15:30

★夏休み体験館

7月30日(土)～8月21日(日)

★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

7月9日(土)、8月13日(土)

14:00から30分程度

場所: 蛭塚公園内旧高山家住宅

※参加無料、事前申込み不要。



※各イベントの内容、定員、参加費などの詳細は、ホームページ、SNSでご確認ください。

※イベントは、変更、中止になる場合があります。

左から
ホームページ
ツイッター
インスタグラム



浜松市博物館

開館時間: 9時～17時

6～8月の休館日: 6/20, 27, 7/4, 11, 19～22, 25, 8/22, 29

〒432-8018 浜松市中区蛭塚四丁目22番1号

電話: 053-456-2208

FAX: 053-456-2275

Eメール: hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

HP: <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/>